

平成23年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典

3月9日（金）、平成23年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、町田参事官とハンディキャップ・インターナショナル・フェデレーションのベンジャミン・グウェン地域事業代表が、「コンポンチャム州リハビリテーション・センター整備計画」（供与限度額：39,500米ドル）案件の贈与契約書に署名を行いました。



カンボジアでは地雷による被害や出産時に脳性まひを患った乳幼児等が非常に多く、総人口の約1割が身体的、精神的、知的な障害を抱えていると推定されています。そのため、当国のリハビリテーションのニーズは非常に高く、より多くの障害者がリハビリを受けられる環境を整備する必要があります。

コンポンチャム州リハビリテーション・センターでも、年々増加する患者全てへの対応が困難な状況にありました。本事業を通して、同センターの理学療法室や運動場などの既存施設の改修、食堂や女性寮などの新たな建設、さらに施設内の家具の整備を行う等施設拡充を通して、年間およそ3,000人の患者に提供するリハビリテーション・サービスの改善を目指します。

式典では、町田参事官がスピーチを行い、本事業の実施がより充実したリハビリテーション・サービスにつながることを願うと述べました。続いて、ベンジャミン・グウェン地域事業代表が、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、コンポンチャム州内のリハビリ患者がより安心して療養できる環境を提供するよう努めていくことを約束しました。

